

CASBEE®広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横川町2丁目MA	階数	地上10F
建設地	広島市西区横川町2丁目4番42	構造	RC造
用途地域	商業地域・準防火地域	平均居住人員	97人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2014年10月23日
敷地面積	727 m ²	作成者	(株)真野設計 大野裕志朗
建築面積	284 m ²	確認日	2012年11月27日
延床面積	2,188 m ²	確認者	株式会社真野設計 真野典彦

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.2	スコア = 1.6	スコア = 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能省エネ等級3相当としました。自主基準で熱橋補強を実施しました / 2方向面に有効な採光通風を確保しています。 / 高効率の照明器具を採用しています。 / 照明の点灯方式にも配慮しています。 / 極力節水用の給水栓を採用しました。磁器質タイル・集成材・パーティクルボード等リサイクル材を使用しました。 / 可能な限りCO ₂ 排出を抑制します。	設計の計画上特段に配慮した事項 アプローチ沿いに緑地を多く設けています / 駐車、駐輪スペースを可能な限り設けています。	設計の計画上特段に配慮した事項 内装仕上げ材は、耐久性がありメンテナンスの容易な材料を採用しました。 / 空配管内に配線・呼び線を挿入することで、仕上げ材を傷めることなく通信配線の更新・修繕が出来るように計画しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される